

# 今年も野馬土にLANが来ました！

# 野馬土の新聞

(Web版)

2019年3月号

特定非営利活動法人  
野馬土

相馬市石上字南白鬮320  
TEL.26-8437  
FAX.26-8203

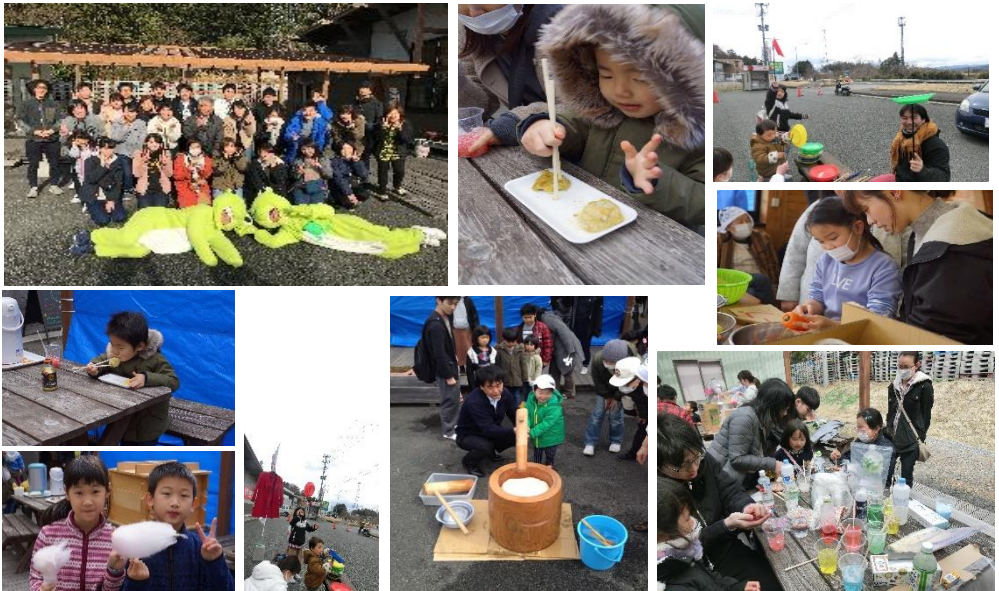
今年で七年目、毎年三月と八月に相馬へ応援に来てくれる兵庫県立大学学生災害復興支援団体『LAN』のみなさん二十六名が今回もやって来ました。初日の二十二日は、朝八時にバスで野馬土に到着。荷物をカフエに置き、すぐにツアーへ出発しました。沿岸部を進み、相馬市から南相馬市、浪江町へと案内したあと、一四号線から山沿いの山麓線を通り、今年オープンした小高区交流センター内の『故郷喫茶カフエカミツレ』にて昼食をとりました。昼食後は、沿岸部の井田川地区にある畑で種まきの農作業体験と山麓線沿いの金谷地区で観光施設設備のワークショップ、相馬市に戻りソーラーシェアリングの農地へイチジク苗の定植の三組に分かれました。

夕方は野馬土に戻って恒例のバーベキュー。農民連青年部や野馬土スタッフと交流をしました。一泊二日という短い期間でしたが、今回初めて参加された学生さんも多くおり、福島の現状を知ってもらえたボランティアだったのではないかと思います。



## 『こども春まつり』にぎやかに開催

十一時から春まつりがスタートし、外ではスライム作りと綿あめ、カフエの中ではプラ板や折り紙、わなげで遊べるブースを設けました。食育の一環としてお餅つきも行い、きたてほかほかのおいしいお餅をきなことおんこ、地元の野菜たっぷり雑煮で味わいました。風が冷たく寒い日だったので、あったかい雑煮が美味しいこと！子ども達もお代わりをしておなかいっぱい♪今回の参加者はのべ一六〇名、うち子どもが約八十名でした。過去最高の子ども達も参加してくれ、LANの皆さんも大喜びでした。次回も楽しい企画を楽しみにしてまいります！



## 布ぞうり作り教室

三月九日、カフエ野馬土にて『布ぞうり作り教室』を開催しました。震災後、相馬市の仮設住宅などで活動を行っている『つくるプロジェクト』の久保田紀子さんと勝山悦子さんに作り方を教えていただきました。参加者は十七名、電話受付開始十五分で定員数に達するという人気ぶりでした。“布ぞうり”という名前を耳にしたことはありましたが、作り方を見たのは今回が初めて。旅館で使われていた浴衣やジーンズの余り生地、アパレルメーカーからの洋服の端切れなどぞうりの材料は様々。そんな色々な生地を使って作るぞうりはとてもおしゃれな色合いで、若い人にも人気なのだそう。作り方に一番苦戦していた鼻緒に、毛糸で編んだお花編\*花』を着けて完成です。自分の足のサイズに合った素敵な布ぞうりが出来上がりました。二人で作るには難しい！この声もありましたが、集まってみんなでわいわいおしゃべりしながら作りたいたの感想が多く、次回の開催も検討しています。

